

本校の創立記念日について

県立古河第一高等学校

来る4月18日（日）は、私たちが学ぶ古河一高の創立記念日です。

本校は、大正15年4月1日に、現在の古河第二小学校の地へ茨城県古河商業学校として設立されました。そして、同年4月18日に開校式が挙行されたことから、その日が創立記念日とされており、今年度で創立95年目となります。現在の茨城県立古河第一高等学校という校名は、昭和24年に改称されたものです。当時は、普通科、商業科、機械科の3学科を擁していましたが、昭和47年に全日制機械科が、その翌年には定時制機械科が廃止され、現在に至ります。なお、商業科が現在のような各ビジネスの3科体制になったのは、平成17年からのことです。

ぜひこの機会に、本校の卒業生や関係者から話を聞いたり、資料などをひもといたりして、本校の伝統や先輩方の躍動を感じつつ、校訓や校歌を大切にし、母校を愛する生徒になってくれることを願います。

◆校訓について

質実剛健（飾り気がなく、まじめで、強くしっかりしていること。）

高潔至誠（志が高く、行いがけじめ正しく、とても誠実であること。）

協同自治（協力して助け合い、自分達のことは自分達で成し遂げること。）

◆校章について



【 現 在 】



【 創立当時 】

校章の由来について

古河の「古」の字を図案化したものです。両側の羽根と杖にからんでいる蛇は、ギリシャ神話で商業・交易の神様とされるヘルメスが持っているものです。中央の棒のようなものはローソクの炎で、未来への希望・飛躍・躍進などを表しています。